

「車イスでも乗れる観光バス」 来る超高齢化社会のニーズに 対応していくバスラインナップ

あかばしや

あかばしや(世田谷区北烏山、中島裕貴社長、電話03・5315・5166、FAX03・5315・5167)は、貸切バス運送事業の会社である。

バスの起源は、2,000年以上もの昔から走る馬車に遡る。「あかばしや」という社名には、「馬車」のどことなく高貴な響きと、「経営、運行、あらゆる面で初心を忘れず！大事なお客様をお乗せするという想いを忘れず！」という中島社長の信念をこめた。バス会社開業は社長の永年の夢だったという。赤は社長のラッキーカラーであり、平成23年に創業を果たした。当初は中型バスで事業を展開していたが、平成24年に車イスごと乗降が可能なリフト付大型バスを導入した。昨年2台目となるリフト付バスを導入し、来る超高齢化社会に向けバリアフリーのニーズ



リフト付大型バス(リフト開口状態)



車イス設置状態

に対応していく一方で、中型バスも新型車両を導入するなど、幅広い顧客ニーズに応えられるようさまざまなバスをラインナップしている。

今年も、高速バスの事故が世間の注目を集める風当たりの厳しい中、全車衝突被害軽減装置付車両への入替、最新式ドライブレコーダーの全車装備など、100%安全運行をめざし、さらなるクオリティアップに会社全体で取組んでいる。